

5. 招待講演・シンポジウム

(学術集会・大会・公的な研修会のみ記載，一般・社会講演は除く)

1. 森岡 周
(講演) 手と脳の機能を考慮したニューロリハビリテーション
第 27 回日本ハンドセラピィ学会学術集会. 2015. 4. 東京
上肢の運動制御に関わる神経メカニズムを述べた後，脳卒中後におこる手の機能回復のメカニズムについて説明した.
2. 森岡 周
(講演) ニューロリハビリテーションの概念とその基本的戦略
第 31 回東海北陸理学療法士学会. 2015. 4. 東京
脳卒中後の運動障害に対するニューロリハビリテーションの基本的戦略について，神経科学，臨床医学の観点から説明した.
3. 森岡 周
(講演) 高次脳機能障害に対するニューロリハビリテーション
平成 27 年度長野県厚生連作業療法士研究大会. 2015. 5. 長野
半側空間無視，失行症の神経メカニズムを説明し，神経科学から考える治療介入について説明した.
4. 森岡 周
(シンポジウム) これからの理学療法研究—世界への発信— 神経科学理学療法研究の立場から
第 50 回日本理学療法学会. 2015. 6. 東京
これまで行ってきた研究の中から国際的な成果として認知された内容を解説した.
5. 森岡 周
(講演) 半側空間無視に対するニューロリハビリテーション
公益社団法人秋田県理学療法士会. 2015. 6. 秋田
半側空間無視に関する神経メカニズムを説明し，具体的な臨床介入を呈示した.

6. 森岡 周

(講演) 脳卒中後の運動障害に対するニューロリハビリテーションの基本的戦略

一般社団法人三重県理学療法士会. 2015. 6. 三重

脳卒中後の運動障害に対するニューロリハビリテーションの基本的戦略について, 神経科学, 臨床医学の観点から説明した.

7. 岡田洋平

(講演) パーキンソン病の理学療法 Up to date

第 50 回日本理学療法学会. 2015. 6. 東京

パーキンソン病の理学療法に関する最新の知見について講義した. 特にパーキンソン病の早期からの長期リハビリテーション, 無動に対する治療戦略, 今後の方向性に関する内容について解説した.

8. 森岡 周

(講演) 身体失認・失行症における身体性変容の解明とニューロリハビリテーション法の開発

新学術領域研究 (科研費) 第 2 回身体性システム領域全体会議. 2015. 7. 東京

我々が行っている身体失認・失行症における身体性変容の解明とニューロリハビリテーション法の開発に関する研究のねらいについて解説した.

9. 森岡 周

(講演) 認知神経科学に基づいた高次脳機能障害のリハビリテーション

公益社団法人日本理学療法士協会講習会. 2015. 7. 徳島

認知神経科学に基づいた高次脳機能障害のリハビリテーションについて半側空間無視, 失行症に絞って解説した.

10. 松尾 篤

(講演) 理学療法士講習会 (基本編)

公益社団法人日本理学療法士協会講習会. 2015. 8. 奈良

「脳卒中患者の損傷脳の再組織化と機能回復のメカニズム」

脳卒中後の脳の再組織化と機能回復について講義した.

11. 森岡 周

(講演) 疼痛の神経心理学—身体性と社会性の観点から—
第 39 回日本神経心理学会学術集会. 2015. 9. 北海道

疼痛の認知, 情動的側面を解説した後, それら問題の神経心理的症候ならびにメカニズムについて解説した.

12. 森岡 周

(講演) 歩行運動の神経機構とシステムモデル

第 34 回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 2015. 9. 山梨

歩行の神経メカニズムについて解説し, リハビリテーションとの接点について考えた.

13. 信迫悟志

(シンポジウム) 慢性疼痛における皮質体部位再現に対するニューロリハビリテーション

第 20 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会, 2015. 9. 名古屋

「ペインリハビリテーションの検証—ペインリハビリテーションの変遷と展望—」にて, 慢性疼痛疾患に生じている皮質体部位再現の可塑的变化とその対策について話題提供した.

14. 森岡 周

(講演) ニューロリハビリテーションの概念と基本的戦略

第 31 回東海北陸理学療法士学会. 2015. 10. 石川

ニューロリハビリテーションの概念と基本的戦略について脳卒中後の運動障害ならびに疼痛の症候学から説明した.

15. 森岡 周

(講演) 片麻痺の回復を考える

公益社団法人 第 50 回日本理学療法士協会全国学術研修大会. 2015. 10. 岩手
脳卒中後に起こる片麻痺症状からの回復メカニズムに関して, 神経科学ならびに臨床医学の視点から説明した.

16. 今井亮太, 大住倫弘, 森岡 周
(シンポジウム) 振動刺激を用いた整形外科患者への介入可能性
第2回日本基礎理学療法学会学術集会
日本基礎理学療法学会第20回学術大会. 2015. 11. 神奈川
橈骨遠位端骨折術後患者に術後翌日より腱振動刺激による運動錯覚を惹起させることによる効果を発表した. 痛みの感覚的側面や情動的側面だけでなく ADL の改善も報告した.
17. 大松聡子
(講演) 右大脳半球障害における随意運動と行為の回復～空間の拡大と身体制御の関わり～
第16回日本認知神経リハビリテーション学会学術集会. 2015. 10. 神戸
右半球損傷後の高次脳機能障害のうち, 半側空間無視症状の眼球やリーチ動作に関する行動特性とその病態解釈について症例を踏まえて発表した.
18. 松尾 篤
(講演) 神経科学に基づく脳卒中リハビリテーション ～社会神経科学とリハビリテーションの融合～
一般社団法人鳥取県理学療法士会. 2015. 10. 奈良
脳卒中リハビリテーションについて講義した.
19. 松尾 篤
(講演) 脳卒中のニューロリハビリテーションのロードマップ
公益社団法人 第50回日本理学療法士協会全国学術研修大会. 2015. 10. 岩手
脳卒中リハビリテーションについて講義した.
20. 信迫悟志
(講演) 慢性疼痛に対するニューロリハビリテーションの取り組み
公益社団法人 第50回日本理学療法士協会全国学術研修大会. 2015. 10. 岩手
慢性疼痛疾患に対するニューロリハビリテーションにおける種々の取り組みについて話した.

21. 冷水 誠

(講演)モチベーションの神経科学 患者およびセラピストの意欲的な行動学習に向けて. 2015. 11. 三重

一般社団法人三重県理学療法士協会南勢ブロック研修会.

ヒトが行動学習をするために必要なモチベーションの神経科学的メカニズムについて講義した.

22. 大住倫弘

(講演)難治性疼痛に対するニューロリハビリテーション

第55回近畿理学療法学会. 2015. 11. 神戸

幻肢痛および複合性局所疼痛症候群における, 病態メカニズムの解説だけでなく, その評価方法と実際のアプローチの例を示しながら解説した.

23. 森岡 周

(講演)身体運動制御に関する神経メカニズムとその臨床介入

公益社団法人北海道理学療法士会後志支部平成27年度講習会. 2015. 11. 北海道

身体運動制御に関する神経メカニズムとその臨床介入について, 姿勢バランス, 歩行, 運動学習の観点から説明した.

24. 森岡 周

(講演)ニューロリハビリテーションの概念とその戦略~脳卒中後の運動障害を中心に~

一般社団法人日本ボバース研究会北海道ブロック研修会. 2016. 1. 北海道

ニューロリハビリテーションの概念とその戦略について, 脳卒中後の運動障害を中心に解説した.

25. 森岡 周

(講演)社会的コミュニケーションとリハビリテーション - 神経科学の観点から -

第24回佐賀県理学療法士学会. 2016. 1. 佐賀

人間が持つ社会的コミュニケーションに関する神経科学, 心理学的知見を説明しながら, 治療介入との接点について解説した.

26. 森岡 周

(講演) 神経生物学入門：人間が生み出した社会的ツール，音楽
日本音楽療法学会. 2016. 2. 東京
音楽を生み出したルーツに迫りながら，脳の進化・発達と文化・文明の関係について解説した.

27. 森岡 周

(講演) 身体失認・失行症における身体性変容の解明とニューロリハビリテーション法の開発
新学術領域研究（科研費）身体性システム領域全体会議. 2016. 3. 岩手
我々が行っている身体失認・失行症における身体性変容の解明とニューロリハビリテーション法の開発に関する研究の成果について解説した.

28. 森岡 周

脳損傷および慢性疼痛患者の身体イメージの変容の特徴とリハビリテーション
第4回身体性システム講演会. 2016. 3. 茨城
我々がこれまで行ってきた脳損傷後に起こる身体性変容や難治性疼痛患者で起こる身体性変容に関わる研究を紹介し，リハビリテーション介入の回復メカニズムについて解説した.